

2025年度アクセラレーションプログラム「FASTAR」第14期 Q&A

No.	項目	Q：質問の詳細	A：回答
1	応募資格	複数の事業に応募できますか？	1社につき1事業でのご応募ください。複数の事業をされている場合は『最も支援を受けられたい事業』をお選びください。
2	応募資格	第2創業で5年以内の場合、当初の創業から5年を超えていても応募資格はありますか？	原則は不可となります。ただし、別会社を設立されてお申し込みをされるということであれば問題ございません。
3	応募資格	法人設立から5年以上が経過しますが、今回応募予定は、本業とは異なる新規事業(開始から5年以内)の場合、応募要件から外れますか？	法人設立が5年以上の場合は応募の対象外です。別会社を設立されてお申し込みをされるということであれば問題ございません。
4	応募資格	合同会社であっても、申請可能でしょうか？	可能です。
5	審査基準	何割ぐらいの応募を合格にする予定ですか？	採択予定者数については、15社～20社程度を予定しております。ただし、申請状況等に応じて変更することはございます。
6	審査基準	(DEMODAYでVCとのマッチングの機会があるとのことだが)プログラム中でもVC等への資金調達活動の支援を受けることは可能でしょうか？	可能でございます。
7	審査基準	今回のFASTAR13期募集枠かローカルゼブラ枠での募集枠かの判断は個人判断で良いでしょうか？	問題ございません。スタートアップ事業者の場合は今回の応募にご申請ください。別途、他のローカルゼブラ枠での申請の検討についても各自でご検討ください。
8	審査基準	社内にCFO, CTO が未定、もしくはいない場合は審査に影響がありますか？ CEO/社長にそのケーパビリティがあり、それらの役を兼務していても良いでしょうか？	現状いない場合は、その旨をご記載ください。CEOの方がケイパビリティもお持ちである旨もご記載いただければ問題ございません。いらっしゃらないことが審査にマイナスになることはございません。未定であっても、候補がいらっしゃる場合などは、その旨をご記載ください。
9	審査基準	以前、不採択となった法人が別の事業について提案することは可能でしょうか？	一度不採択になったとしても、その後の事業進捗状況等を勘案し、同事業で再度ご応募いただくことは問題ございませんし、別事業でのご提案ももちろん可能です。
10	支援内容	プログラムに参加しながら、行政の助成金や補助金の申請・採択については問題ないでしょうか？	問題ございません。行政やNEDO、JST等の機関の補助金・助成金についても必要に応じてご活用ください。
11	支援内容	他のアクセラレーションプログラムと平行して取り組むことは可能でしょうか？	可能です。ただし、他のアクセラレーションプログラム側で、並行して取り組むことに対して制約を設けている場合もありますので、そちらの要件をご確認ください。
12	支援内容	パートナーの方の具体名が知りたいです。	当事業のHP内、”TEAMページ(https://fastar.smrj.go.jp/team.html)”にて、シニアマネージャーや、皆様に直接支援・伴走させていただく『パートナー』と呼ばれる専門家の方々の経歴等を記載しています。
13	メンタリング	1回のメンタリングは何分実施でしょうか？	原則1回あたり3～4時間程度です。 経営課題などに応じてメンタリングをどう行うかは調整可能です。
14	応募書類	応募書類の資料に文字数制限や枚数制限はありますか？	資料の枚数制限や文字数制限等は特にございません。ただしシステムによる申請のため、1項目に10個のファイルしか添付できず、また、容量の大きすぎるものも送付できませんので、ご注意ください。
15	応募書類	会社HPを未作成ですが、どのようにすべきでしょうか？	HPがない場合は「なし」とご明記ください。
16	デモデイ	デモデイは全員実施でしょうか？ゲートウェイがありますか？	ゲートウェイはありません。 またデモデイは全員参加です。原則、リアル会場にお集まりいただきますが、諸般の事情によりオンラインで発表された方も過去にはいらっしゃいます。